

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果
作成日

平成22年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2770102735		
法人名	社会福祉法人 朋和会		
事業所名	グループホーム 年輪		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府堺市御池台5-2-2		
自己評価作成日	平成22年2月10日	評価結果市町村受理日	

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合 情報提供票を活用する場合	http://www.osaka-kaiyohoken-kohyou.jp (別添情報提供票のとおり)
---	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル
訪問調査日	2010/2/22

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>水分摂取の為に飲み物をバラエティにし水分補給の時間を取り入れるようにしている。・排便コントロールの為に、ヨーグルト等で食材の工夫をしている。・買い物や地域での行事への参加など外出の機会を心がけている。・利用者様お一人おひとりの誕生日会を皆でお祝いする。・季節を感じて頂ける様に食事・共同スペースの飾りつけ・施設内の菜園など工夫している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>隣接する法人の医師や看護師がいつでもすぐに駆けつけられる体制が整備されており、利用者や家族の安心や信頼が高いと感じました。日頃から職員研修を行い、人材育成に重点を置いています。利用者、家族の希望に沿った支援が出来るよう努力もしています。ケアプランの検討会が毎月行われ、モニタリングを毎日実施し記録にも残しています。堺市南部のグループホームと連携し、合同の勉強会や検討会などを開催しています。また地域住民や小学校に出向いてグループホームや認知症の啓発活動を実施するなど、地域に根付いた施設を目指しています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
・理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	リビングに掲げている。	法人の理念とグループホーム独自の理念の両方を掲示し、毎朝職員全員で唱和しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	老人会・地域の行事等に参加し交流している。	毎月の自治会行事、保育園行事、隣接する特別養護老人ホームの月行事や夏祭り・運動会などに参加するなど、積極的に地域とのつきあいをしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などで地区自治会長と話し合う機会があるので、取り組んでいる。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を実施し、地域住民や家族様より意見をお聞きし運営に活かしている。	2ヶ月に1回開催しています。自治会役員・他のグループホーム職員・堺市地域包括支援センター・家族等が参加し、得られた意見や情報を事業運営に反映しています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議の参加のお願いや、地域のグループホームの集まりの会議にも参加してもらっている。	2ヶ月に1回開催される8箇所のグループホームの合同研修会の会場として役所の会議室を使用し、地域包括支援センター職員にも参加してもらいなど、積極的な市との連携がみられます。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	出来ている、マニュアルを基に研修を実施している。	玄関の施錠や身体拘束などはありませんでした。また、定期的に職員研修会を実施し、周知徹底を図っています。	
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員勉強会を行い、防止に努めている。	/	/

8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員勉強会で行っている。</p>		
9	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は、十分時間を取り理解、納得して頂ける様、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を玄関に設置・家族交流会・携帯のメールなどでご意見を出して頂いている。</p>	<p>玄関前に意見箱の設置がみられました。また、年1回の家族交流会や電話・携帯メールなどで意見を聴取し、積極的に運営に反映しています。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>毎月、職員で意見を出し合い話し合っている。</p>	<p>月1回開催の職員会議に管理者が参加し、職員の意見や提案を聞き、運営に反映しています。</p>
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務実績の把握を行っている。</p>	
13		<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>随時外部研修に参加できる様に積極的に資格取得できる様にしている。</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>2か月に1回地域のグループホームが集まり勉強会を行っている。</p>	

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、本人が困っていること、不安な こと、要望等に耳を傾けながら、本 人の安心を確保するための関係づく りに努めている</p>	<p>体験入所や施設見学 などを実施し相談を受 けるようにしている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階 で、家族等が困っていること、不安 なこと、要望等に耳を傾けながら、 本人の安心を確保するための関係づ くり努めている</p>	<p>体験入所や施設見学 などを実施し相談を受 けるようにしている。 家族様より十分相談 を受けるような言葉か けを行っている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階 で、本人と家族等が「その時」まず 必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めて いる</p>	<p>お話をお聞きし、関係 機関との調整に努め ている</p>		
18	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の 立場に置かず、暮らしを共にする者 同士の関係を築いている</p>	<p>出来る事は、お自分で して頂くことを念頭に 置き利用者全員で支 えあう関係を持っている。</p>		
19	<p>本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の 立場に置かず、本人と家族の絆を大 切にしなが、共に本人を支えてい く関係を築いている</p>	<p>利用者の意見や話を 傾聴し、家族との連携 を密にしている。</p>		
20	<p>馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴 染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている</p>	<p>友達に会いに行ったり、 訪問頂いたりでき るように支援を行って いる。</p>	<p>昔馴染みの人々の面 会要請を積極的にし ています。また、希望 があれば利用者の行 きたい場所への付き 添いや家族への働き かけなどもしていま す。</p>	
21	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一 人ひとりが孤立せずに利用者同士 が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている</p>	<p>入所者同士が仲良く 助け合えるように職員 が仲をとり援助してい る。</p>		
22	<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了して も、これまでの関係性を大切にしま しながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努め ている</p>	<p>特養に入所となり、 サービス終了するケ ースがあるが、特養へ のきちんとした申し送 りをすると共に、家 族様とは継続的に おつきあいを 行っている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>できるだけ自由にその人のペースで暮らしていけるよう支援している。</p>	<p>毎日、さりげない会話の中から困りごとや意向の確認をしています。また、入居時アセスメントの趣味や意向を生活に反映しています。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める</p>	<p>家族様の面会時などに生活歴などお聞きしている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>適時会議を持ち、現状の把握・ケアの統一に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月話し合いを行い、ケアカンファレンスシート記録を残し、6か月に1回ケアプランの更新・毎日のモニタリングを実施している。</p>	<p>利用者の意向を毎日聴取し、家族からは面会時や電話にて確認しています。利用者も交えたケアカンファレンスを経て計画を作成し、6ヶ月に1回の定期更新や、状態の変化に応じた随時の更新をみられます。また、モニタリングは毎日実施しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子、ケアの実践は個別ケースに記録している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族様の要望にこたえられるよう、そのつど臨機応変に対応、支援している。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の文化活動などに参加している。</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の医師と相談しながら、家族の希望があれば、随時専門の医療機関受診</p>	<p>隣接する法人の医師による往診があり健康管理をしています。希望により、今までのかかりつけ医に通院することも可能です。また、歯科や眼科等への受診も家族や利用者の希望に沿った</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>診療所看護師、またはホーム職員看護師と連携を図っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>随時面会行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関の医師と相談しながら、家族を含めて方針を考えている。</p>	<p>医師や看護師がいつでもすぐにかかけつけてくれる協体制が整備されています。医師、家族、本人、職員で、重度化した場合や終末期に向けた話し合いが持たれ、方針を共有しています</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルやAEDの設置をしており、定期的な勉強会を行っている、緊急時の対応に努めている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている</p>	<p>マニュアルもあり、研修などで実施・協体制についても把握している。</p>	<p>春と秋の年2回、避難訓練を実施しています。万が一の場合には隣接する特別養護老人ホームやゴミ焼却場の協力を得られるよう働きかけています。また、災害時の地域住民の避難場所として母体法人やホー</p>	

. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇についてのグループワークなどをおこなっている。大切な話はお部屋で行うようにしている。	日頃よりプライバシーの保護や情報の取り扱いについて話し合いがなされ、プライベートな話をするときなどは居室で行うなど配慮しています。優しくさりげない言葉かけが行われ、他の人に気づかれないよう心配りのある対応がなさ
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意見や話を傾聴し感情表現ができるような雰囲気作りに努めている。	
38	15	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせた対応を行っている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の方々の好きな色、デザインを大切に、その人らしい服装で過ごして頂いている。	
40	16	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	材料を切っていただいたり、食器の後かたづけを手伝って頂いている。	利用者の意向が献立に反映されており、利用者の出来る事を手伝ってもらいながら、職員と一緒に準備や後片付けが行われていました。食事も楽しく食べられるように会話をしながら利用者のペースに合わせ
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養士との連携をとり、行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者お一人お一人の状態にあわせて行っている、1日1500mlを目安とし水分摂取を行っている。	

43	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者の体調変化にあわせ対応している。</p>	<p>排泄チャートを使用して、一人ひとりの排泄パターンを把握し、体調に合わせた対応がなされており、できるだけトイレで排泄できるように支援していました。</p>	
44	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便サイクルにあわせ、ヨーグルト・繊維質の多い食材を使用するなど工夫している。</p>		
45	17 <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週5日入浴日とし、利用者の希望や体調にあわせ入浴して頂く、入浴時は必ず2人介助にて行いゆっくり安全に入浴して頂けるよう援助している。</p>	<p>曜日や時間の決まりがなく、利用者の希望に応じた回数、時間に入浴ができるよう支援しており、入浴が嫌いな方には、足浴で心地よくなった所を見計って声かけし、入浴につなげるなどの工夫がされ、清潔を保持</p>	
46	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>不穏・興奮にて安眠ができない際は、付添・入眠介助を行う。</p>		
47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者の服薬状況表があり、理解している。様子観察も行い、服薬確認も行っている。</p>		
48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎朝、交替でその日の日付や体操の号令をかけていただいたり、拭き掃除のお手伝いしていただいている。</p>		

49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>マンツーマンで買い物に出かけるようにしている。</p>	<p>日常的に、利用者の一人ひとりの希望に沿った外出の支援をしています。また、日帰り旅行に出かけるときなど家族の協力を得ながら楽しめるような外出を計画・実施しています</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>職員が管理、保管しているが自己管理できそうな人には、お小遣い程度は持って頂いている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>日常的に電話が出来るようにしている。(暑中お見舞いなど)</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁画や月ごとの写真・季節にあわせたご利用者の手作り作品の掲示など、家庭的な雰囲気づくりに努めている。</p>	<p>玄関に入った所に、雛飾りが置かれ、食堂、居間にはゆったりとくつろげるようソファが設置され、窓からは庭が見渡せるなど、落ち着いてくつろげるよう配慮していました。利用者の写真や作品なども掲示し、心地よく過ごしていることがう</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>限られた空間の中で、ソファや家具の配置換えなど利用者と共に居場所づくりを行っている。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時に使い慣れたタンスや鏡台等の家具を持ってきていただくようにしている。</p>	<p>入居前に使っていた馴染みのタンスや仏壇など愛着のある調度品が置かれていました。居室の入り口には自分の部屋が分かるような工夫もみられました。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>お風呂場などに手すりを設置。階段には昇降機設置。</p>		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回ある たまにある ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
62	利用者は、その時々や状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての利用者と 利用者の3分の2くらいと 利用者の3分の1くらいと ほとんどできていない</p>
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない</p>

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない
66	職員は生き活きと働けている		ほぼ全ての職員が 職員の3分の2くらいが 職員の3分の1くらいが ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		ほぼ全ての家族が 家族の3分の2くらいが 家族の3分の1くらいが ほとんどできていない